

平成23年度
地域支え合い体制づくり事業

県内の高齢者や障害者など援護を必要とする方の見守り・支援を行う在宅福祉アドバイザー等の資質向上を図るため、研修用素材(DVD)を作成し、在宅福祉アドバイザーリーダー養成研修並びに認知度を高めるため次の事業を実施しました。

(1)在宅福祉アドバイザー
研修素材の作成

在宅福祉アドバイザーの活動やサロン活動、見守り活動を行う上での留意事項等を取り上げたDVD並びに高齢者サロンの運営マニュアル等、研修で活用できる素材を作成し市町村などに配布しました。

(2)在宅福祉アドバイザーの
リーダー養成研修

鹿児島市・鹿屋市・霧島市・奄美市・西之表市の5地区(1会場あたり50人程度)で開催し、座学やグループ討議等により、在宅福祉アドバイザーの役割や機能、地域福祉の資源活用、見守りが必要とする人との接し方等について、DVDを活用しながらリーダーとしての役割を学びました。この成果を、是非とも市町村が行う研修会等で役立てていただきたいと思います。

(3)認知度を高めるための
取り組み

見守りを必要とする人に対する在宅福祉アドバイザーとしての認知や自身のモチベーションを高めるため、携帯用証明書(名刺サイズ)・腕章を作成し市町村等に配布しました。



研修内容

■DVDを活用した研修技法

【イメージアップ活動事例編】

- ・高齢社会を取り巻く状況の理解
- ・在宅福祉アドバイザーの役割
- ・高齢者サロン活動の意義
- ・支えあいマップづくりの意義

【スキルアップ研修教材編】

- ・事例紹介及びグループ討議
- ・模範的対応や工夫のポイント紹介

